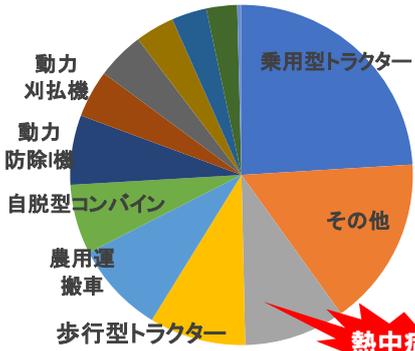


高温時の作業を避ける！ 1人での作業を避ける！

ポイントは
そして
20分おきの
休憩&水分補給

要因別の死亡事故発生状況（令和3年）



熱中症

乗用型トラクター	58人
その他	39人
熱中症	23人
歩行型トラクター	22人
農用運搬車	21人
自脱型コンバイン	16人
動力防除機	16人
動力刈払機	11人
圃場・道路からの転落	11人
稲わら焼却中などの火傷	9人
木など高所からの転落	8人
農用施設作業事故	7人
農用高所作業機	1人
合計	242人

① **高温時の作業は避ける**
農作業は気温が高い日中の時間帯を避けて行いましょう。

② **単独作業は避ける**
二人以上で作業し、時間を決めて声をかけたり確認し合ったりしましょう。

③ **20分おきに休憩&水分補給をとる**
涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、毎回コップ一〜二杯以上の水分補給をしましょう。

お住まいの地域の熱中症警戒アラートの発出状況などをチェックして、危険度が高い場合は、予定している作業を軽いものに変更するなどしてください。変更がむずかしい場合は、作業時間を朝夕の時間帯にずらしたり、休憩や給水の回数を増やすなどしましょう。

農作業死亡事故の約一割は熱中症！

近年の猛暑で熱中症事故が多発しています。農作業中では毎年三〇人前後が亡くなっており、農作業による死亡事故全体の約一割を占めています。

七〇代以上が約九割！

農作業中の熱中症による死者数は七〇代以上が大半。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下するとされているので、とくに注意が必要です。

毎年約三〇人が 農作業中の 熱中症で死亡

安全第一



イラスト/大山きいろ ©kosepro

応急処置

手足がしびれる、冷たい

めまい、吐き気がする

ズキンズキンという頭痛がある

汗をかかない、体が熱い

意識の障害がある

体がだるい

まっすぐ歩けない

熱中症の症状と
応急処置

意識がない、自力で水が飲めない、応急処置を施しても症状が改善しない場合はすぐに病院へ！

作業環境の改善
作業場を涼しくしたり休憩の質を高めるために

ミストファン、ミスト発生器、ミスト機能付きボトルなど

1人作業の備え
やむを得ず1人作業をする際のリスク回避に

スマートウォッチ、応急セット、冷感タオル、帽子など

身体を冷やす
暑い時間帯の作業が避けられないときに

ファン付きウェア、ネッククーラー、冷却ベストなど

熱中症対策アイテム